

令和6年度第4回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 開催日時

令和6年12月26日（木） 午後2時00分～午後2時45分

2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

3 出席者

(委員)

平野 勝与	久我 孝顕	桐島 一義	山崎 武志
山口 晃弘	宇田 雅英	高山 俊宏	宮口 泰彦
井上 邦康	松岡 康士	金平 駿（代）	高田 健司（代）
秋本 隆彦	日野 雄蔵	木曾 孝彦	渡邊 一成

(事務局)

大崎 聡	信岡 知典	小池 由範	高本 侑加
------	-------	-------	-------

4 欠席委員

無し

5 議事

第1号議案 地域内フィーダー系統確保維持費 国庫補助金・事業評価（案）

6 報告事項

福祉タクシー導入について

おたっしや号調査運行に向けた状況について

7 配布書類

資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図

資料2 令和6年度第4回府中市地域公共交通活性化協議会－議案

資料3 令和6年度第4回府中市地域公共交通活性化協議会－資料

8 傍聴者

6人

9 議事の内容

○開会

【事務局】

○配布資料の確認

【事務局】

○委員紹介

【事務局】

○議事

【会長】

福山市立大学の渡邊でございます。よろしくお願いいたします。

ご存じの方も多いと思いますが、先週から1週間、福山市にてバス無料ウィークが行われ、バスの無料乗車実験が実施されたところです。その中で府中と福山を結ぶバスも無料だったため、多くの方が利用されたと聞いております。利用促進として、乗車していただいた方に公共交通の良さを理解していただくような機会になったのではないかと考えております。

さて本日は、議題が地域内フィーダー系統確保維持費についてです。市街地を走るぐるっとバスが対象となりますが、国から補助金をいただいて確保維持に努めているところです。今回は事務局から運行事業について説明があり、委員の皆さまにご審議をいただき、その審議結果を報告するものです。本日は、よろしくお願いします。

それではお手元の次第をご覧ください。第1号議案、地域内フィーダー系統確保維持費 国庫補助金・事業評価（案）について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○「第1号議案 地域内フィーダー系統確保維持費 国庫補助金・事業評価（案）」の説明。

【会長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの事務局の説明に対して、ご意見やご質問をいただきたいと思います。

【委員】

次年度の利用目標は、それぞれ500人を増やすということで、幾つか取り組みについてご説明いただきましたが、それで達成できるのでしょうか。

【事務局】

取り組みとしては、地道に行う必要があると考えております。今年度からバスにICOCAが導入されましたので、大々的な周知等を行い新規利用者の獲得に向けた取り組みを実施し、目標達成していきたいと考えております。

【委員】

ICOCAの購入方法等、現状教えていただける情報があれば、この場で教えていただきたいと思います。

【委員】

ICOCA を含めて説明させていただきます。

まずは利用促進について、ぐるっとバスも含みますが、ホームページに「しらべる一と」というものがあります。これは地図からどこで乗車ができるのか、その場所の発車時刻や遅延の状況等をお知らせするものです。こちらを活用しつつ、利用促進に繋げていきたいと考えております。

ICOCA の導入については、機器の取り付けは終わっていますが、実際の使用は3月30日からになります。理由としては3月29日まではPASPYに使用していた機器が利用できるということです、この日に切り換わります。

ICOCA の購入に関しては、スマートフォンをお持ちであれば、スマート ICOCA をダウンロードしてクレジットカードと紐づけをすれば利用できます。ただ販売については府中で ICOCA を購入できる所がありません。手法について考える必要がありますが、例えば、中国バスが ICOCA を購入して府中市のほうで利用促進の一環として配るか、又は販売することはできるかと思います。販売については連携を取りながら購入することができるよう検討していきたいと思っております。

【委員】

福塩線に ICOCA の導入ができていないなかで、今回バスに導入されましたが、地域公共交通の利便性を向上させることが重要であると考えております。ICOCA を下関へ導入したことで山陽本線全線が利用できるようになり、これから支線に取りかかる状況であります。ご利用状況を見つつ順次導入を検討している状況です。一方で街の中で ICOCA を普及させていただいている状況は、会社全体へPRしていきたいと思っております。

ICOCA の購入については、導入されたエリア内の駅で購入ということになりますので、最寄り駅では福山となります。先ほどありましたスマート ICOCA は簡単に登録いただけますので、ご利用いただければと思います。

今回の議案であるバスの利用者を増やすためには、地道な取り組みをしていくしかないと思っております。一つの事例として東広島市のおまるめ山バスがありまして、地元の方に身近に感じてもらうような取り組みを徹底的に取り組まれています。すぐに効果は出ませんでしたが、街の洋菓子店でおまるめ山バスのデザインがされたお菓子が販売される等、少しずつ浸透しています。すぐには改善できないかもしれませんが、こうした地道な取り組みを継続的していくことが大切だと思います。

今回バスへ ICOCA の導入をしていただきましたので、連携してバスでも ICOCA が使えるということ周知の方法を連携して検討していく必要があると思いました。

【委員】

前回の協議会でぐるっとバス左回りの経路について、町内会等から運行経路に対する要望があったかと思いますが、そちらは検討されているのでしょうか。そうした要望があるということは、運行経路を変えることで乗客を増やすことができると思います。

【事務局】

現在、既存のルートで運行していただいておりますが、説明の中でもお伝えした通り各バス停での乗車等の分析をしております。要望いただいている地域全てを追加して回るとするのは、運行時間がかかりますので難しいと思いますが、来年度はルートやダイヤの変更といった全体を視野にした協議

をして、どのように運行していくかを検討していきたいと考えております。

【委員】

来年は、現在のルートを維持するということでしょうか。

【事務局】

現在のルートで運行しながら、協議を行っていききたいということです。

【委員】

まだ沿線で ICOCA が使えないということで、導入しても使われないというのは非常に残念な話です。例えば ICOCA を買う手段とチャージをするための設備といったものが市役所内に設置できればいいと思いました。

また乗り方教室や ICOCA の使い方教室という話もあったと思いますが、クレジットカードへの紐づけ等の条件があるなかで、便利だと思ってもらうような取り組みが必要だと思いました。せっかく導入するなら、できるだけことをしていただければと思います。

【委員】

補足ですが、ICOCA は福塩線の一部で利用できないということで、バスは全車で利用できます。チャージは全てのバス車内でできますので、その問題はありません。

ICOCA については、いろいろな連携を考えていて、例えばマイナンバーと連携するということもできます。今までの PASPY だと定期は店頭に行って購入でしたが、スマホで決済して購入すれば、スマホでタッチした情報を全て定期として利用できるような方法を早々に導入していきたいと考えておりまして、今後利用の幅は広がっていくと思います。

また ICOCA は公共交通以外にもいろいろなところで利用できます。コンビニ等の支払いでも利用でき、チャージもできるということで、カード1枚で全てのことができるようになるということで期待しているところです。

【委員】

スマート ICOCA に紐づいて WESTER があるのですが、地域で使える事例もかなり増えています。お買い物するだけで、WESTER ポイントがどんどん貯まるということなので、例えばダウンロードの仕方等の教室みたいなことは連携して積極的に周知していきたいと思います。

【会長】

使い始めると便利でポイントも貯まるということで、キャッシュレスの時代でもありますので、啓発に取り組んでいただくことも良いと思います。

先ほど、ぐるっとバスの左回りの話がありましたが、運行について制約もあり難しいところがあるとは思いますが、ご検討いただければと思います。よろしくお願いします。

本日は事業評価ということで、ご報告いただきました。目標には達していませんが、前年度を上回る状況ということで順調に回復していると思います。事業評価は国の方に提出するということですので、採決を取ります。

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金事業評価（案）について、挙手制で採決を行いたいと思います。ご承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

【委員】

（挙手多数）

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数ということで、可決されました。

ありがとうございました。

以上で本日の議事を終了いたします。

○閉会

以上